

# 新たな地産地消開拓戦略

プロジェクト

◇コンクリート舗装の活用促進

プロジェクト	No	コンクリート舗装の活用促進
	1	

目標	コンクリート舗装の使用範囲の拡大
----	------------------

**現状と課題**

- コンクリートの材料であるセメントは、主原料である石灰石の本県での生産量(1,601万トン)が全国第2位であるなど、主要な地場産品
- コンクリート舗装は、重車両交通量が多い道路ではライフサイクルコストが低廉であることや、耐久性が高く、維持管理の合理化が図られるなどの利点

**取組方針**

- 地産地消の観点から、また、耐久性が極めて高いという特性を生かす観点からも、県が整備する道路(国道、県道、農道、林道等)におけるコンクリート舗装の使用範囲の拡大を図ります。
- 県が整備する道路での使用範囲の拡大を目指すことに加え、国、市町等へも積極的に活用を働きかけます。

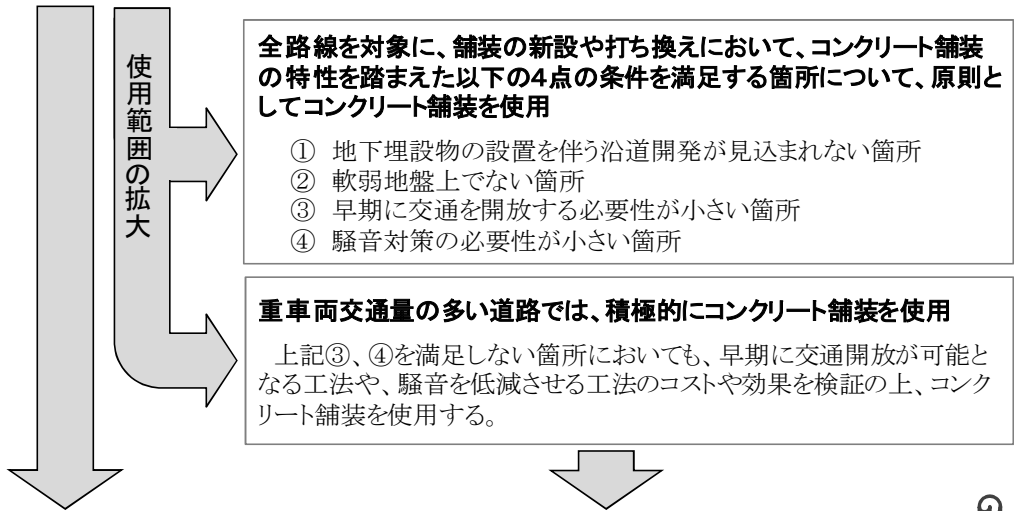
**具体的な取組**

取組	<input type="checkbox"/> コンクリート舗装の活用 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県が整備する道路(国道、県道、農道、林道等)での使用範囲の拡大</li> <li>・ 活用箇所を統一するための活用マニュアルの作成と、国、市町への働きかけ</li> </ul>				
	取組	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
工程表	<b>県が整備する道路における使用範囲の拡大</b>	● 小野田湾岸線(一部)の着手(H25.9) ● コンクリート舗装整備箇所の抽出	● コンクリート舗装の整備促進		
	<b>国、市町への普及活動</b>	● コンクリート舗装等PRフェアの開催(H25.10) ● コンクリート舗装活用マニュアルの作成 ● 現場見学会等の開催 ● 国、市町との会議等での普及啓発活動の推進	● 様々な機会を通じてコンクリート舗装の普及啓発活動を推進		

# 事業の概要

山口県の主要な地産品であるセメントを使用するという地産地消の観点と、耐久性が極めて高いという特性を生かす観点から、コンクリート舗装の使用範囲を拡大

**使用実績の継承**  
トンネル部及びアスファルト材料が調達困難な箇所において、引き続きコンクリート舗装を使用



**県産材料を活用したコンクリート舗装使用範囲が拡大**  
= **新たな地産地消の開拓に寄与**

## 小野田湾岸線（県道妻崎開作小野田）

### ◆ 概要

- 場所：山陽小野田市東高泊地内
- 延長：L=80m（大塚ランプ橋～大塚東交差点間）

